

第 2 回沖縄鉄軌道市町村会議の結果

沖縄県

第2回沖縄鉄軌道市町村会議

議事要旨

- 1 日時：平成28年2月3日(水) 14:00～16:00
- 2 場所：沖縄県中部合同庁舎4階第1～4会議室
- 3 出席市町村
国頭村、大宜味村、東村、本部町、恩納村、宜野座村、沖縄市、うるま市、宜野湾市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、西原町、那覇市、浦添市、糸満市、豊見城市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町
- 4 主な議題
 - (1) 沖縄の将来の姿の具体的なイメージについて
 - (2) 対策案検討にあたっての基本的考え方について
 - (3) 評価指標について
- 5 議題要旨
 - (1) 事務局より議題に沿って説明を行い、意見交換がなされた。
 - (2) 市町村会議での主な意見は下記のとおり。

<市町村の主な意見について>

- 現状の交通量、渋滞状況、観光周遊を考慮して、ルートを検討してほしい。
- 跡地等の大規模な開発計画だけでなく、それ以外の開発計画も考慮の上、利用者数等を推計してほしい。

第2回沖縄鉄軌道市町村会議 << 議事メモ >>

発言者	発言
浦添市	<p>駅位置については、市町村会議で議論して考えてをまとめていくのか、それとも、技術及び計画検討委員会である程度議論され、その結果を市町村会議で情報共有を図っていくことになるのか。</p> <p>⇒本検討は、構想段階の検討となるため、具体的な駅位置については、決定する予定はない。ただし、どういうところに駅を配置すべきなのかといった、駅位置の考え方については、技術及び計画検討委員会で検討をし、その結果については市町村会議を通して市町村の皆さんへ情報提供しご意見を伺うこととしている。</p>
浦添市	<p>現在、検討が進められている基幹バスに伴うバス再編と、鉄軌道のフィーダー交通としてのバス再編とは、別々に検討されることになるのか。</p> <p>⇒基幹バスは短中期、鉄軌道は長期の取組として検討されているが、再編への取組が、二度手間とならないよう連携を図りながら検討していく考え。</p>
宜野湾市	<p>鉄軌道が通るかどうかは、普天間の跡地利用を考える上で重要な問題である。普天間跡地を通るか通らないのか教えて欲しい。</p> <p>⇒普天間基地跡地活性化は重要な課題であるが、現在、幅広い視点で導入ルート等について検討を行っている段階であり、現段階で説明することは難しい。</p>
豊見城市及び糸満市	<p>現状の交通量、渋滞状況、観光周遊を考慮し、豊見城、糸満までのルートを検討してほしい。</p>
浦添市	<p>財源の確保、実現性はどうか考えているのか。</p> <p>⇒事業の実施にあたっては、事業費の確保が重要であり、そのためには、整備新幹線方式を参考とした特例制度の創設が必要と考えている。今後、事業化に向けて、特例制度の創設を含めた財源確保が大きな課題であると考えている。</p>
那覇市	<p>MICE 建設も考慮して与那原へのフィーダーの位置づけを考えているか。</p> <p>⇒県としては、まずは全体のネットワークについて検討を行うことが重要と考えている。MICE に関する様々な課題は、関係機関等により検討がなされるものと考えており、そこと連携を図りながら検討を進めていきたい。</p>

浦添市	<p>跡地等の大規模な開発計画だけではなく、それ以外の開発計画も考慮の上、利用者数等を推計してほしい。</p> <p>⇒10ha 以上の開発計画については、検討に反映させるため、現在、市町村に既存及び将来の開発計画について照会中である。ご協力をお願いしたい。</p>
浦添市	<p>内閣府の検討内容が市町村に情報提供されていないので提供してほしい。</p> <p>→内閣府の資料公表については、県の立場からはいえない。 過去の内閣府の検討結果や県の各委員会の資料は、それぞれの HP で公表しているため参考にしていきたい。</p>